

国別WID情報整備調査

インドネシア

Indonesia : Country WID Profile

平成9年3月

国際協力事業団

企画部

JICA LIBRARY



J 1146205 (8)

環境

JR

98-60

国別WID情報整備調査
(インドネシア国)

目次

1. WID/ジェンダーに関する概要と政府の取り組み	
1-1 インドネシアの女性の概要	1
1-2 文化・社会的背景	1
1-3 WID/ジェンダーに関するインドネシア政府の取り組み (WID/ジェンダー政策、ナショナルマシーナリー等)	2
2. 主要セクターにおけるWID/ジェンダー	
2-1 教育分野	4
2-2 保健医療分野	7
2-3 農林水産業分野	10
2-4 経済活動分野(鉱工業・手工業・サービス業等)	13
3. 国際機関・その他の機関のWID/ジェンダー関連援助実績	16
4. 情報入手可能組織/人材リスト	18
5. 関連文献リスト	21
6. 当調査実施に関する情報	24
7. 引用文献	24

1 WID/ジェンダーに関する概要と政府の取り組み

1-1 概要

東西5,100kmにまたがる大小17,500の島々から成り立つ世界最大の島嶼国家インドネシアには300以上の民族が居住するとされており、使用言語も多岐にわたっている。1968年に現スハルト政権が誕生して以来、年平均7%弱の経済成長率を維持してきており、その結果、1969年に一人当たり70ドルであった所得水準は現在では700ドル台と中進国レベルに達している。1976年に全人口の40%を占めていた貧困ライン以下人口は1990年には17%に減少した。しかし、このような急激な経済成長に伴い、貧富の差の拡大、都市部への人口集中や環境汚染、経済状況の地域間格差といった諸問題が顕在化している。

インドネシアの女性は、他のASEAN諸国の女性たちと比較すると、教育・保健関連指標が依然、劣っている。妊産婦死亡率はASEAN中、450（対出生10万）と突出して高いほか（厚生省、1996）、近年、改善がみられるものの高等教育レベルの就学率、成人識字率でも差は思うように縮まっていない。

教育レベルの向上や家族数の減少を背景に、1970年代後半以降、女性の労働参加が進んでおり、1978年から1991年の間に年3.5%の割合で労働力参加率が増加した結果、現在では女性は労働力人口の半数を占めている（Gondowarsito, 1997）。このように女性の社会参加が徐々に進んでいるにも関わらず、女性が数日、家を空けることには多くの男性が抵抗を示すなど男性側の意識の変化は進んでいない。また、離婚や夫の死亡により、特に25歳以下の若年層の女性世帯主数が1980年代の10年間で2倍に増加しており全世帯の13.3%を占めているが（前掲書）、男性が一家の主という社会の通念のために彼女たちの問題には目を向けられることが少なく、生産・再生産双方の責任を一手に引き受けなければならないため貧困に陥る家庭が多い。また、産業労働者等に従事することによる女性の社会参加が増加するにつれて女性に対する暴力が増加しており、何らかの対策が必要とされている（前掲書）。

1-2 文化・社会的背景

イスラム教徒が全人口の87%を占めておりイスラムの影響が強いものの、バリ島ではヒンドゥー教、北スマトラではプロテスタント、東南部の島々ではカトリック等、地域や民族によって主要な宗教は異なっており、多様な文化的背景をつくりだしている。女性が置かれている状況も地域、民族、経済状況によって様々に異なっている。

女性の社会参加を阻む厳格な文化的宗教的制約は存在しないが、男女には明確に異なった役割が期待されている。男性は一家の長とされ女性の最も重要な役割は子供を生み育てることとされているため、現実には女性は家庭内での意志決定に参加し家計管理を担っているにも関わらず、こうした一家の生計創出面での貢献には正当な評価が与えられていない。婚姻法によれば一家の長と位置づけられているのは夫であり妻の立場は子供の世話等の家庭内の役割に限られている。

婚姻法の定めるところによれば、妻から離婚を申し出ることは認められている。一夫一婦制を基本としてい

るものの最初の妻の同意があれば複数の妻を平等に扱うという条件で一夫多妻も認められている。しかし、現実には最初の妻の同意を確認する手続きは定められておらず、平等な扱いについても明確な基準があるわけではない。また、イスラム法には離婚は男性の申し出によることという規定も存在しており、婚姻関係の法規は一元化されていない状態である。

1-3 WID/ジェンダー分野における政府の取り組み

◆WID/ジェンダー政策

1945年に制定された憲法は男女平等を謳っており、労働、政治の分野における男女の平等な権利と義務が法制化されている。しかし、離婚や相続を律するのは地域によって様々に異なる宗教法あるいは慣習法(Adat)であり、そのなかでは女性の権利は制限されているのが実状である。インドネシアは女子差別撤廃条約には1984年に批准した。

第3次国家行動5カ年計画(1979-83年)以来、国家開発のプロセスで女性の地位向上を目指す旨が明記されるようになっており、第6次国家行動5カ年計画(1994-98年)のなかでは、1)家庭生活改善のための女性の役割の向上、2)女性労働者の地位の向上、3)女性の教育・技術の向上、4)女性の地位向上のための社会文化的環境の醸成、5)女性の地位向上のための行政機関の強化の5点に関し特に取り組みが表明されている。また、第2次25カ年長期開発計画(1994-2018年)では、乳児死亡率(対出生1000)を1998年までに50、2018年までに26に、妊産婦死亡率(対出生10万)をそれぞれ225、80へと低減させることを目標としている。

◆ナショナル・マシーナリー

名称	女性の役割省 (Office of the State Minister for the Role of Women, Ministry for the Role of Women)
職員数	N.A.
予算比率	0.03% (1994-98)
達成目標	1) 女性の教育レベルの向上 2) 女性の健康と栄養状態の向上 3) 女性労働者の育成・権利保護 4) 女性の環境・衛生管理能力の強化

女性の役割省はWID/ジェンダー政策の策定を行い、各省庁と実施のコーディネートを任務として活動している。1978年に設立された当初は副大臣を長とする機関であったが、その後、1983年に大臣が管轄する省に格上げされた。インドネシアでは、行政による地域ボランティア組織であるPKK(女性家庭福祉活動)が国中に村落レベルでの広範なネットワークをはりめぐらせているほか、Indonesian Women's Congress (KOWANI)、Provincial Women's Council (BKOW)、District Women's Council (GOW)等の女性関連準政府機関が存在し、女性の健康、教育、政治経済参加プログラムの実施を支援している。また、WID/ジェンダー政策の策定を支援するためにインドネシア全国の65大学に女性研究センター (Women Study Centres) が設置されている。他機関との連携に関しては、省庁間の連絡協議フォーラムに加えて地域組織およびNGOとの協議を定期的に開催し、各々の活動について報告し重要取り組み事項についての理解の共有や提言を行っている。

◆他省庁によるWID／ジェンダー関連の主要取り組み事項

教育文化省	・非識字撲滅のためのPacket Aプログラム実施
保健省	・ボシアンドゥ（2－2保健医療を参照）を通じた乳児ケア ・妊産婦死亡率の低減（425を1998年までに225へ）
農業省	・農村女性の生産性向上支援
国家家族計画調整庁	・5歳未満児の知育開発に関する女性への指導

地域開発に果たす女性の役割は大きいにも関わらず、様々な開発プロジェクトへの参加は低く、特に技術改善等の対象として扱われることは稀である。プロジェクトの立案や実施過程への参加は限られているのが現状であり、女性へのマイナスの影響を減らしプロジェクトの持続性を確保するために改善が求められている。現在のWID／ジェンダー関連プログラムは、P2W（Peningkatan Peranan Wanita）と呼ばれる、女性を対象としたプログラムである。しかし、女性の役割省は、近年、ジェンダーのメインストリーム化を図ることを政策として掲げており、女性を対象にしたプログラム（P2W）だけでなく、全ての開発プログラムを計画・実施する中でジェンダーのアプローチを取り入れることが課題となっている。

2 主要セクターにおけるWID/ジェンダー・イシュー

2-1 教育

- 1) 1980年代に女性の就学は大きく伸びたものの、依然、高等学校、大学レベルでは男性との間に格差が存在する
- 2) とりわけ農村女性の就学機会が限られており、農村女性の識字率は74%と低い
- 3) 女子の就学機会が男子より制限されている最大の理由は親が女子に対する教育の重要性を理解できないことである

◆概況

教育制度は6・3・3制を採用しており、その後、4年制の大学や様々な訓練機関に進学する。義務教育は初等教育のみであったが、1994年度から9年間に延長された。初等教育の就学率はここ30年間でかなり向上しており、1961年の59%から1985年には96%に増加した。初等教育は大部分が公立学校であるが、高等教育では私学が多数を占めている。1980年から1992年までの間に小学校数は40%、中学校数は70%、高等学校は112%増加し、それぞれ、148,257校、18,601校、10,410校になったが（Government of Indonesia, 1995）、高等学校の増加は民間セクターに支えられているところが大きい。

◆初・中・高等教育

1971年からの20年間に女性の就学率はかなり伸び、初等教育レベルでは男女間の格差は埋められているものの、教育レベルが上がるにしたがって女子比率は減少しており、高等教育レベルへの女子の就学は思うように伸びていない。とりわけ技術関連分野では女子の就学は依然、限られている。近年、徐々に改善されつつあるものの農村部の女子の教育レベルは特に低く、中等教育レベルで就学率（農村部60%、都市部82%）が20ポイント以上開くなど、都市部の女子から大きく遅れを採っている。結果として農村部の女性の識字率は74%と都市部女性を14ポイント下回っている（Government of Indonesia, 1995）。

女子の就学率が伸び悩む理由は、1) 村内には小学校しかなく家事を期待される女子は村を離れて中等教育へ進めないこと、2) 教育レベルが上がるにつれて増大する経費が負担となった場合、親は男子を優先すること、3) 結婚後、女性は男性の家族に属するため女子への教育投資効果を認識できないこと、4) 遠隔地での就学生活に伴う性的被害を親が心配すること等であり、集約すると親が女子への教育の重要性を認識できないことに起因している。高等教育分野で学ぶ女性の専攻が語学、文学に偏り、農業、社会科学、科学技術分野への女性の進出が進んでいない理由としては、女性の分野ではないという周囲の認識やロール・モデルの不在が挙げられており、あらゆる分野への女性の進出を促すために改善が必要な分野とされている。

◆教員・教材

将来に関する生徒の認識や選択肢を偏ったものにならないために、ジェンダーに関するステレオ・タイプに基づいたカリキュラムや教材を改善する必要性が生まれている。そのためには教員、教育行政者、教材執筆者に対するガイドラインの作成や研修の実施が必要である。

◆ノン・フォーマル教育

高年齢層女性の教育レベルが低く、また中等教育以降のレベルへの就学率が思うように伸びていないことが

ら、ノン・フォーマル教育の重要性は高く、とりわけ農村部でのノン・フォーマル教育拡充が必要となっている。非識字の女性を対象にした識字教育 (Packet A & B) は1980年代からおこなわれており、読み書き・計算能力の向上に一定の成果を上げてきている。識字教育には小規模事業・融資や技術訓練を組み合わせることも実施されているが、女性が伝統的に担ってきた縫製や食品加工といった分野に限られており、産業ニーズにあった技術訓練の提供が求められている。

◆職業・技術訓練校

職業訓練教育に参加する女子は非常に限られており、分野は家庭・家政科関連に偏っている。高等教育同様、職業訓練・技術教育においても、科学技術の進歩から取り残されずに女性が生産面での参加を進めていけるように女子が科学技術関連教育を受ける必要性は高い。

表1 レベル別就学率

	女性			男性		
	1980	1992		1980	1992	
		都市	農村		都市	農村
小学校	83	96	92	84	96	88
中学校	56	82	60	65	87	91
高等学校	24	59	28	39	67	32
大学・高等教育	5	18	4	12	25	7

出典：Government of Indonesia, 1995

表2 就学レベル8/10歳以上人口

	1986		1992	
	女性	男性	女性	男性
就学経験なし	56.49	44.38	54.33	44.54
小学校	29.16	33.48	27.40	30.44
中学校	8.58	11.59	9.29	11.53
高等学校	5.39	9.47	7.88	11.51
大学	0.37	1.07	1.08	1.97

出典：Gondowarsito, 1997

表3 教育レベルのASEAN及び先進国との比較 (男性を100としたときの女性の指数)

	インドネシア	ASEAN	先進国
成人識字率	86.3	91.3	99.8
就学率：初等教育	97	99	99
中等教育	92	98	98
高等教育	56	88	103

出典：国別医療協力ファイル、1996

表4 10歳以上人口性別居住地別成人識字率

	1985	1992
都市部		
女性	86	88
男性	95	95
農村部		
女性	70	74
男性	85	87
全体		
女性	74	79
男性	88	89

出典：Government of Indonesia, 1995

表5 公立大学卒業生の男女別専攻分野構成比

	全女子学生中の比率	全男子学生中の比率
工学	3	13
教育	27	20
農業	14	13
保健	6	4
社会科学	18	18
経済	10	9
その他	24	23
合計	100	100

出典：Gondowarsito, 1997

表6 セクター別自然科学・技術者男女比

	公務員	産業労働者	高等教育	合計
女性	32	10	25	28
男性	68	90	75	72

出典：Gondowarsito, 1997

表7 10歳以上人口の最終学歴

	1986		1994	
	女性	男性	女性	男性
就学経験なし	21.7	10.7	14.4	6.7
初等教育未修了	34.8	33.7	28.4	26.9
初等教育修了	29.2	33.5	34.1	35.5
中学校修了	8.6	11.6	12.0	14.1
高等学校修了	5.3	9.3	10.0	14.2
ディプロマ取得	0.4	0.8	0.9	1.3
大学修了	0.1	0.5	0.6	1.2

出典：Government of Indonesia, 1995

2-2 保健医療

- 1) 乳児死亡率の低減にはかなりの効果をあげているものの、妊産婦死亡率はASEAN中、突出して高く、保健医療分野の最重要課題である。
- 2) ボランティアの動員が地域医療に貢献しているが、全体として保健サービスへのアクセスは未だ限られている

◆概況

保健省、州、県、地域のヘルス・ポストに至る保健行政サービスの施設と人員に関する整備はほぼ整ったと考えられているが、聴診器や血圧計などの基本的な診療機材や消耗品は未だ確保できていない状態であり、保健医療従事者への研修も不十分であるなど、保健サービスの質の向上が課題となっている。加えて通信設備や車両の不足のために、保健所から病院へのリファール・システムは依然、十分機能していない。家族計画については、人口抑制を国是としていることを反映して大統領直轄機関である国家家族計画調整局(BKKBN)が担当しており、保健省に比べ潤沢な予算と人員が確保されている。

インドネシアにおける主な死亡原因は心臓疾患、結核、呼吸器感染症、下痢等であるが、近年、肝硬変、悪性腫瘍などの先進国型成人病による死亡が増加している。高温多湿な気候のため、マラリアやデング熱といった熱帯病の発生件数も多い。

◆母子保健

近年、乳児死亡率はかなり改善されており、1980年から1990年の10年間に109から63(対出生1000)に減少した(厚生省、1996)。これは乳幼児死亡率の低減のための住民組織として1985年に設立されたポシアンドゥ(Posyandu: Integrated Service Post)の活動によるところが大きい。ポシアンドゥは月毎の母子への村内検診を通じて栄養改善、予防接種や家族計画を実施しているが、活動は多くの無償ボランティア(Kader)によって支えられており、村落レベルの母子保健改善にとって非常に重要な存在となっている。内務省管轄の地域女性組織であるPKK(女性家庭福祉活動)も村落レベルの保健改善にボランティアとして参加しており、インドネシアでは行政による住民ボランティア組織が保健医療の改善に大きな役割を果たしている。乳児死亡率の主要原因は急性呼吸器感染症(40%)、下痢(12%)、破傷風(11%)等である(国別医療協力ファイル、1996)。

乳児死亡率の低減には成果を上げてきているものの、450(対出生10万)とASEAN中、突出して高い妊産婦死亡率(世界子供白書1997)によるとブルネイを除いたASEANの平均妊産婦死亡率は約170)には近年、改善が見られず、早急に取り組む必要がある。また、妊産婦死亡率には130から780と大きな地域差が存在しており(Gondowarsito, 1997)、遠隔農村部の母子保健状況はさらに厳しい。妊産婦死亡の主な原因は、出血多量、産褥熱、子癇であるが、その背景となっているのは妊産婦の栄養不良、短い出産間隔、若年あるいは高年齢出産、不衛生な出産処置、出産介助者の技術の未熟さ等である。全女性の2/3は貧血と報告されているほか、妊産婦の栄養に関しては、低栄養や寄生虫による鉄欠乏症貧血およびヨード欠乏による地方病性甲

状態種が深刻な問題である。

インドネシアでは7割の出産は自宅でおこなわれており出産助産者の6割は伝統的産婆である（国別医療協力ファイル1996）。都市部と農村部の違いも大きく、都市部では助産婦による出産が66%を占めているのに対し、農村部では伝統的産婆による出産が72%を占めている。伝統的産婆を活用することによる妊産婦への産前検診等が重要な役割を果たすと期待されているが、伝統的産婆には高年齢者や非識字者が多いことなどの理由で十分活用されていない。

◆家族計画

国家家族計画調整局（BKKBN）が1980年代以降、「子供は二人で十分」キャンペーンを大々的に実施しており、家族計画クリニックのみならず、保健所やポシアンドゥでピル、コンドーム等の無料配布がおこなわれている。1980年に5,609件であった家族計画クリニックは1992年には11,643件に増加した。これらの努力が功を奏し、避妊実行率は55%（1996年）に上昇し、合計特殊出生率も1980年の4.1から1995年には2.8に低下した（世界子供白書1997）。地域水準からは未だ遅れを取っているものの、このように家族計画が成功した原因としては、初婚年齢が上がったことや政府が経済開発達成には人口抑制が必要であるとして家族計画普及を強力に打ち出したことが大きかったと考えられている。このように国家課題として積極的に取り組んだ結果、合計特殊出生率および人口増加率はかなり低減し（それぞれ1.8、2.8）、1989年には国連人口賞を授与されている。

表1 主要保健指標

人口（人）	179,320,000	低出生体重児の割合（%）	14
人口増加率 1981-91（%）	1.8	低体重栄養不良児（中重度）の割合（%）	35
15歳未満人口割合（%）	36.6	予防接種率（%）	
15～59歳の女性の人口割合（%）	50.2	BCG	86
出生児平均余命（女性）	64.5	ポリオ	79
（男性）	60.8	DPT	78
粗出生率（対人口1000人）	24	麻疹	70
粗死亡率（対人口1000人）	8	妊産婦死亡率（対出生10万）	450
乳児死亡率（女児）	53	合計特殊出生率	2.8
（男児）	67	避妊実行率（%）	55
5歳未満児死亡率	75	保健員の付き添う出産比率（%）	36

出典：世界子供白書1997、開発途上国の母子保健、1996、World Bank, 1996

表2 保健医療サービスの普及状況（1991年）

保健医療サービス	実数	10万人あたり
病院数	982	0.55
病院ベッド数	111,160	62.0
保健所数	6,103	3.40
医師数	16,638	9.28
看護婦数	104,749	58.4
村落助産婦数	11,883	6.62
ポシアンドゥ数	251,815	140
ボランティア数	775,978	433

出典：開発途上国の母子保健、1996

表3 乳児死亡の原因と割合（1986年）

原因	割合
新生児破傷風	19.3%
周産期トラブル	18.4%
下痢	15.5%
急性呼吸器感染症	14.3%
麻疹・百日咳・ジフテリア	9.4%

出典：開発途上国の母子保健、1996

表4 分娩場所の内訳（1990-94年）

分娩場所	割合
自宅	71%
伝統的産婆宅等	11%
私立病院	10%
公立病院	6%
保健所・分娩所	2%

出典：国別医療協力ファイル、1996

表5 出産介助者の内訳（1990-94年）

介助者	割合
伝統的産婆	60%
助産婦	34%
医師	3%
その他	3%

出典：国別医療協力ファイル、1996

2-3 農林水産業

- 1) 女性は農業生産に重要な役割を果たしてきたが、賃金雇用の割合が増すにつれ、周縁的労働者として扱われるようになってきており、男性への経済的依存が増している
- 2) 農林水産業とも、女性を生産者として位置づける視点は根付いておらず、女性に対する生産性向上のための技術普及機会の提供や女性のニーズのプログラムへの反映は限られている

◆概況

人口の8割は農村部に居住しており、農業や水産業はインドネシアの主要産業である。1990年の賃金雇用者は女性2550万人、男性4610万人であったが、その約半数は農業部門であった。農村部では人口の70%が農業に従事している（Gondowarsito, 1997）。産業全体に占める農業の重要性は相対的には低下してきているが、最大の労働力を吸収する部門であることには変わりはなく、女性労働者の47%がこのセクターに従事している（Government of Indonesia, 1995）。

◆農業

女性が農業生産に果たしている役割は大きく、とりわけ収穫後の段階では女性の労働に頼るところが大きい。米作においては農作業の75%は女性によって担われている（Gondowarsito, 1997）。女性たちの多くは無給の家族従業者であるが、賃労働者としても農業に深く関わってきた。しかし、1970年代に高収量品種の導入が始まって以降、換金作物の比重が高くなり、賃金雇用による農業従事者の割合が増えるにつれて、女性は周縁的農業労働者として扱われるようになってきている。これは、女性の労働が副次的なものとして考えられていることや、女性は新技術の活用能力に欠けると考えられているために、新しい賃金雇用の機会が生じた場合には男性に職を奪われてしまう場合が多いためである。女性が雇用される場合は男性に比べてよりインフォーマルな契約で雇用される傾向が大きく収入も少ないため、結果として女性の男性親族への経済的依存が増している。

女性の無給家族従業者のなかにはインフォーマル・セクターでの労働を通じて所得向上をはかるものも多く、彼女たちの経済的貢献が家族の生計に寄与するところは大いだが、往々にして副業としか見なされていない。また、農業と生活の両方に重要な役割を果たす水の確保が、生産・再生産双方に重要な役割を担っている女性の労働に及ぼす影響も大きい。女性が水路や水量の決定について意見を求められることは稀である。

◆土地所有権

インドネシアではすべての人々に適用される相続法は未整備であり、相続に際しては慣習法が用いられている。地域によって違いはあるが、慣習法は一般的に女性の土地所有への権利を制限しており、多くの地域では女性が親の財産を相続することは認められていない。また、夫を亡くした女性が土地を相続した場合も土地所有は常に男性名でなされるなど、女性にとって不利な条件が多い。しかし、近年、土地取引に関し夫は妻の許可が必要であるなど、女性の意思を尊重する方向も生まれつつある。

◆農業普及

村落協同組合（KUD）や農民グループが農業普及の窓口になっているが、これらのメンバーは世帯主とされていることがほとんどであり、実質的に作業を担っているのが女性であっても、女性に対する農業技術の普及はほとんどおこなわれていないのが実状である。女性世帯主は組合やグループが認めない限り、それらのメンバーになることは困難であり、また男女混合の会合で自由に意見を述べることに慣れていないため、女性の意見が採り入れられることは難しい。結果として、女性の技術改善の機会へのアクセスは非常に限られている。農村における女性への普及は栄養、家族計画といった妻・母としての役割に関する内容か、家庭菜園といった内容のものに限られている。

◆小規模融資へのアクセス

小規模融資に関しては政府機関やNGOにより様々な取り組みが実施されている。その全貌を明らかにするようなデータは存在しないものの、一般的に貸付額が低いプログラムほど女性の参加率は高くなっている。プログラムによっては、融資にあたり村長や夫の署名を必要とする場合もある。プログラムの多くはグラミン銀行のようにグループに対して貸し付けをおこないメンバー間の相互責任によって確実な返済を目指す方法を採用しているが、女性への融資が夫の事業のために使われたり、またその逆もあることから、小規模融資が女性の経済的地位に与える影響は測定困難な状況である。また、女性へのグループ金融は返済率という意味では成功を取めているが、協同組合事業という意味では成功例は少ないのが実状である。担保が無い場合公的融資取得の機会が限られていることや公的融資機関に関する情報不足のため、女性は高利を課せられるにも関わらず、民間高利貸しからの借金を余儀なくされることも多い。

◆林業

木材、合版、パルプ等の需要増加を受け、1980年代以降、林業は急速な進展を見せており、1993年には輸出量は34億ドルに達した（前掲書）。商業林業、社会林業ともに女性は男性の仕事と考えられている整地といった労働にも平等に加わっており、女性の果たしている役割は大きい。州の森林局が労働者として雇用するのは男性がほとんどである。男性が換金用、建築用の樹種を好むのに対し、女性は食糧、薪、薬品等を得るための樹種を望むといったニーズの違いが明確に存在するにも関わらず、女性のニーズには目が行けられないことも多い。FAOの調査によれば女性をターゲット・グループとして組み込んだプロジェクトの方が経済効果が高いという結果が出ており、女性のニーズを反映した林業経営の推進が求められている。

◆水産業

島嶼国家インドネシアには沿岸漁業に携わる水産業従事者が多数存在するが、少数を除いてほとんどは小規模業者であり、水産業者には最貧層を形成するものが多い。一般的に船を出して魚を釣るのは男性の仕事で、沿岸部での漁獲や貝採り、加工、販売に携わるのは女性である。大きな魚の場合には販売も男性がおこなうことが多い。男性が釣ってきた魚を女性が加工して販売するというように、漁業においては男女の役割は補完的であるため、女性も一家の生計に深く関わっており、家計管理が完全に女性の手にかかされている地域も多い。しかしながら、女性の貢献が大きいにも関わらず、女性自身が女性の仕事は家事の合間におこなう副次的な労働と考えていることも多く、女性の貢献は正当に評価されていない。

表1 労働力に占める農業人口の割合

	全労働力に占める農業人口割合
1980	54%
1990	49%
1994	N.A.

出典：Government of Indonesia, 1995

表2 女性の農業への参加

1986				1994			
全労働力	女性	女性比率	女性労働力に占める農業従事者	全労働力	女性	女性比率	女性労働力に占める農業従事者
37,644,644	14,993,447	39.8%	55.7%	37,857,499	15,012,054	39.6%	47.3%

出典：Government of Indonesia, 1995

表3 小規模融資プログラムへの女性の参加状況 (1988年)

機関	利用者に占める女性比率	平均融資金額 (ルピア)	担保	実質月利 (%)	実施地域
政府系金融 (ジャワ)	80%	5,000	必要	3.0 - 4.0	地域
郡融資機関 (BKK) (中央ジャワ)	80%	55,000	不必要	2.0 - 4.8	郡/村落
村落融資 (Kredit Usaha - KURK)	57%	N.A.	不必要	3.3	村落
州融資機関 (デンパサール)	29%	736,000	必要	2.5 - 3.0	州
政府系金融 (KUPEDIS) (アサ)	25%	330,000	必要	1.7 - 2.6	郡
村落融資 (KIK/KMKP)	23%	5,000	必要	3.0 - 4.0	地域

出典：Government of Indonesia, 1995 (1 USドル=約2300ルピア；1996年)

2-4 経済活動

- 1) 教育レベルの向上に伴い女性の労働力参加率は増加しているが、その多くはインフォーマル・セクター従事者である
- 2) 学歴が同一であっても女性の賃金は男性より低く抑えられている
- 3) 貧困のため、海外への移住労働を選ぶ農村女性が急増している

◆概況

1967年から1981年にかけて平均7.7%のGDP成長率を達成し順調な発展を遂げてきたインドネシアは、1980年代の不況にも規制緩和、為替管理の強化、構造調整、石油以外の輸出の振興等で対応し、1990年代には成長率を5%以上のレベルに回復させた（Government of Indonesia, 1995）。製造業部門の雇用は1980年代の10年間に73%の成長を遂げたが（Gondowarsito, 1997）、大規模工場での雇用が男性中心であるのに対し、農村部の労働集約型工場では大半が女性労働者である。

◆労働参加

インドネシアの労働力人口の40%は女性であり（Government of Indonesia, 1995）、女性が経済活動に活発に参加していることを物語っている。しかし、女性労働力の約半数は無給家族従業者等を含むインフォーマル・セクター関連従事者である。女性の労働力参加率は39.21%（1990年）であり、1980年（32.65%）に比較すると伸びているものの男性（71.2%）とはかなりの開きが存在する（Gondowarsito, 1997）。1980年代に女性の労働力参加の伸びが顕著であった地域は、ジャカルタ、ジョグジャカルタ、東部ジャワであった。また、家事を労働と見なして集計に加えると女性の労働力参加率は74%に上昇すると推計されている（Government of Indonesia, 1995）。居住地別にみると、過去10年間の間に都市部における女性労働力参加率は8ポイント上昇したが、依然、農村女性の労働力参加率が都市女性を上回っている。さらに居住地によって女性の労働参加パターンも異なっており、農村女性労働力人口の66.2%は農業に従事しているが、都市部では女性の70%強は第3次産業に従事している。インドネシアでは女性世帯主比率は13%程度であるが（前掲書）、これら女性世帯主の7割強は45歳以上であり一般的に教育レベルが低い層であるために雇用機会を得ることが困難な場合が多く、貧困ライン以下の生活を強いられているものが多い。

女性の労働参加が増加しているにもかかわらず、子供の世話や家事の責任も同時に背負っているために女性の負担は重くなっており、家事・育児を両性の責任として認識・実践する方向に向けての社会の意識変革も求められている。

◆雇用労働

科学技術の進歩によって雇用環境も変化しているが、女性はこのような変化から取り残される傾向にある。多くの女性の雇用先となっている手工芸品産業を始めとする小規模産業や販売業は、あまり多くの見返りが期待できる分野ではない。

男女間の賃金格差は大きく、教育レベルが同等であっても女性は男性より低い賃金しか支払われていない。大学卒業レベルでは男性の賃金は女性の152%であるが、初等教育以下のレベルになると男性の賃金は女性の200%に達している（World Bank, 1996）。女性の工場労働者は増加しているが、長時間労働、劣悪な労働環境、低賃金、不十分な安全管理等、数多くの問題が指摘されている。労働法規の履行は徹底されておらず、女性も自分たちが有する権利を認識していることは稀である。また、女性は一時雇用労働者などの不安定な

雇用形態で雇われているものの割合が高く、周辺の労働者として扱われている場合が多い。1人前の労働者として扱われていないために、訓練や研修の機会も限られている。また女性の失業率は農村、都市部共に男性を上回っており、とりわけ10～24歳の都市部女性が最も影響を受けている。近年、セクハラ被害も増加していることが報告されているが、セクハラや雇用差別を都レベル等の雇用問題委員会や裁判所に申し立てることは可能であるにもかかわらず、女性がそのような手段に訴えることは稀である。

海外への移住労働者が増加しているが、その約7割は女性であり、とりわけ中東・アフリカ地域に向かう移住労働者の9割は女性である（Government of Indonesia, 1995）。これらの女性の多くは貧しい農村家庭の出身者であり、ほとんどの場合、家事手伝いとして働いているが、家事手伝いという職種の性質上、立場は弱く、移住労働者間のネットワークもないために孤独な環境での労働を余儀なくされている。政府は斡旋業者の登録やガイドライン設定、保険プログラムの提供などによって移住労働者の保護をはかろうとしているが、女性移住労働者の多くは教育レベルが低いために労働条件等の面で搾取されやすい立場にある。女性の多くは結婚しており子供を残して海外へ向かうため、残された家族への支援の必要性も生まれている。

◆インフォーマル・セクター

技術を持たない女性の多くは進出が容易なインフォーマル・セクターでの労働に従事している。時間の調整が可能で家の近くでおこなえる点が家事や育児を担う女性にとっての大きな利点であるため、インフォーマル・セクターに従事している女性は女性労働者全体の73%に達している（男性は62%、前掲書）。インフォーマル・セクターの女性の多くは農業、商業に従事しており、飲食品の販売等、伝統的に担ってきた活動に近い分野を選ぶものが多い。また、インフォーマル・セクターの女性の60%は賃金を得ているが、他は自営あるいは無給家族従業者である。女性のほとんどは配偶者の収入では生計を立てることが困難なためにインフォーマル・セクターでの労働を選んでおり、実質的に家計を支えている場合も多い。

表1 労働関連指標

成人労働人口に占める女性比率 1990年	39%	
稼働所得割合 1993年	女性 31.9%	男性 68.1%

出典：人間開発報告書1996

表2 女性労働力参加率（%）

	都市部	農村部
1986	29.50	49.94
1989	30.68	51.03
1993	37.40	49.60

出典：Gondowarsito, 1997

表3 産業セクター別女性労働力構成比（%）

	都市部	農村部
農業	9.60	66.20
工業・製造業	20.29	11.54
サービス業	70.11	22.26
合計	100.00	100.00

出典：Gondowarsito, 1997

表4 セクター別雇用人口構成 (%)

	1980			1990		
	女性	男性	全体	女性	男性	全体
農業	53.78	56.96	55.93	48.90	50.53	40.95
鉱業	0.35	0.95	0.75	0.49	1.27	1.00
製造業	12.38	7.46	9.08	14.36	9.81	11.43
電力・ガス・水道	0.04	0.17	0.13	0.04	0.28	0.20
建設	0.24	4.67	3.21	0.27	6.20	4.09
商業	18.00	10.05	12.96	19.93	11.85	14.73
運輸	0.13	4.18	2.85	0.18	5.58	3.66
金融	0.30	0.73	0.59	0.62	1.14	0.95
その他	13.06	14.25	13.86	13.72	12.69	13.06
合計	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

出典：Gondowarsito, 1997

表5 インフォーマル・セクターにおけるセクター別労働人口構成 (1993年)

セクター	比率
農業	71.55
鉱業	0.12
製造業	5.51
電力・ガス・水道	0.00
建設	0.13
商業	19.56
運輸	2.43
金融	0.02
社会サービス	0.63
合計	100.00

出典：Gondowarsito, 1997

表6 性別最終学歴別平均月収

	女性平均月収 (ルピア)		男性平均月収 (ルピア)		女性月収/男性月収 (%)		小学校未修了者の平均月収を100とした 場合の指数			
							女性		男性	
	1986	1991	1986	1991	1986	1991	1986	1991	1986	1991
小学校未修了	22,740	35,734	44,651	70,842	51	49	100	100	100	100
小学校修了	29,638	47,281	58,361	86,435	51	50	130	132	131	122
中学校	50,743	85,810	82,652	124,448	61	53	223	240	185	175
高等学校	71,648	118,788	103,850	151,830	69	74	315	332	233	214
高等教育	117,762	338,269	167,064	444,735	70	68	518	949	374	627

出典：Government of Indonesia, 1995 (1ドル=約2300ルピア；1996年)

3 WID/ジェンダー関連援助実績

プロジェクト/プログラム	実施機関	援助機関	期間	予算 (US\$)	ジェンダーに関する事項
教育					
第三次ノンフォーマル教育プロジェクト	教育省	世銀	1992.2~1998.3	69,500,000	女性の経済自立を目指した識字率改善、技術訓練、小規模融資
保健・医療					
農村地域保健・人口プロジェクト	保健省	ADB	1994.8~2000.12	40,000,000	スマトラ地域における乳児死亡率、妊産婦死亡率、合計特殊出生率の低下
妊産婦死亡率低下を目指した女性の地位向上プロジェクト	女性の役割省	UNFPA	1997.1~(2年)	未決定	ジェンダー啓蒙IEC教材の開発とキャンペーン戦略策定
ジェンダー関連データ分析能力向上	統計局、保健省	UNFPA	1995~1998	609,100	ジェンダー関連データの提供と政策への反映
妊産婦健康改善プログラム (INO/RPH011)					
1) 妊産婦の健康向上のためのコミュニティー組織活用	保健省	WHO	1996~1997	162,100	妊産婦の健康向上に関する経験やデータの集積及び組織化のためのガイドライン作成
2) 妊産婦の健康向上のための地域行政官及びNGOとの協力推進	"	"	"	57,000	妊産婦の健康向上のための地域行政官及びNGOによる協力方法の計画及びモニタリング指標の策定
3) 包括的リプロダクティブ・ヘルス・サービス提供方法の改善	"	"	"	41,000	リプロダクティブ・ヘルス向上のためのデータ収集、情報システム改善、研修マニュアル改訂及びヘルス・ワーカーへの研修
4) 妊産婦の健康向上のための調査研究	"	"	"	98,000	地域の妊産婦健康管理体系、産褥期の出血多量への対処、妊産婦の慢性的蛋白質欠乏症の低減方法に関する調査
5) 「健康な母子」キャンペーン戦略の開始	保健教育センター	"	"	112,000	妊産婦死亡率低減のためのキャンペーンに関するニーズ調査及びターゲット・グループの特定
6) 公衆衛生・医療・看護学校における妊産婦の健康改善教授内容改訂	"	"	"	68,500	医療従事者の訓練プロセスにおける妊産婦の健康改善についての効果的教授プログラムの策定
7) 妊産婦の健康改善のための政府、ドナー、NGO間協力計画	保健省	"	"	31,000	妊産婦の健康改善に携わる関係者間の連携促進
8) 妊産婦死亡率低減促進のための戦略策定	"	"	1997	40,000	妊産婦死亡率低減のための最も効果的な戦略の策定
9) 妊産婦の健康改善及び母子保健向上のための長期コンサルタント	"	"	1996~1997	308,000	保健省の妊産婦の健康改善及び母子保健プログラムの実施支援
第三次地域保健・栄養プロジェクト	地域保健局	世銀	1993.1~1993.9	93,500,000	リプロダクティブ・ヘルスの改善(貧血低減)及び妊産婦の健康改善
第五次人口プロジェクト	保健省、国家家族計画調整局	世銀	1991.5~1996.9	104,000,000	家族計画普及、助産婦の訓練・育成、妊産婦死亡率の低減
HIV/AIDS・性感染症予防管理プロジェクト	保健省	世銀	1996.3~1999.9	16,100,000	政府のエイズ予防戦略実施支援及び女性・性産業従事者等の高感染リスク者対策
低所得者地域における水供給及び衛生設備支援	保健省	世銀	1993.8~1998.9	80,000,000	水・衛生設備設置計画への女性の参加、水供給による女性の労働軽減及び女性の健康向上への貢献
母子保健・栄養・衛生プロジェクト		UNICEF	1995~2000		母子保健、予防接種の普及、母子への適切な栄養、水・衛生状況改善
農村水産業					
小規模融資プロジェクト (1327-INO)	インドネシア銀行	ADB	1995.7~2000.6	25,700,000	農村女性の収入創出、生活水準向上
地下水開発プロジェクト	農業省	世銀	1993.6~1999.12	54,000,000	プロジェクトの計画・実施・訓練への女性の参画

プロジェクト/プログラム	実施機関	援助機関	期間	予算 (US\$)	ジェンダーに関する事項
総合的害虫管理・訓練プロジェクト	未決定	世銀	1993.3~1998.9	32,000,000	女性農民 (全体の30%) への害虫駆除訓練
土地行政プロジェクト	未決定	世銀	1994.9~2000.9	80,000,000	土地登記の推進を通じ女性の土地への権利拡大
流域管理・保全プロジェクト	内務省	世銀	1993.12~2000.9	56,500,000	流域管理訓練及び管理・保全計画への女性の参加、水利用グループへの女性の参加
林産物開発プロジェクト	農業省	世銀	1992.6~1998.9	87,600,000	林産物生産を通じた女性の収入向上、女性への普及訓練提供
ケリンシ・セブラット地域総合保全開発プロジェクト	林業省、内務省	世銀	1996.3~2000.9	24,800,000	地域世帯の貧困解消
ヌサ・テンガラ地域農業開発プロジェクト	地域開発局	世銀	1996.3~2000.9	27,000,000	女性の地域リーダーへの農業生産技術導入等、女性の農業開発への参画
スラウェシ農業地域開発プロジェクト	農業省	世銀	1993.3~1998.9	26,800,000	普及員、プロジェクト・スタッフ、地域リーダーへのジェンダー研修
経済活動					
女性労働者支援のための労働組合の能力強化	Federation of Indonesian Trade Unions (FSPSI)	ILO	3年間	1,400,000 (ベルギー)	女性及び児童労働者の権利保護・地位向上のための組合の組織整備
フィリピン、タイ、インドネシアにおける家内労働者組織の機能強化 (NT/95/MO8/DAN)	人材省 (DEPNAKER), NGO	ILO	1年間	200,000 (DANIDA)	世帯収入向上のための家内労働者自組織強化
アセアン女性技術訓練ネットワーク (RAS/95/200)	ASEAN, 女性の役割省	ILO	1年間	259,981 (UNDP/CIDA)	女性の収入向上機会の改善、交渉力強化
経済政策が雇用・失業に与えるインパクト調査		ILO	7カ月	101,000 (UNDP)	社会的弱者 (女性、子供、障害者) へのインパクトを含む経済政策の雇用・労働需要へのインパクト調査
女性の雇用機会拡大のための地域プログラム		ILO	5年間	511,144 (日本: 96~97年度)	女性の雇用機会拡大のための国別行動計画、パイロット・プロジェクト地域の決定
その他					
女性の役割省の組織強化	女性の役割省	ADB	1991.6~1995.11	600,000	女性政策のメイン・ストリーム化を目指した他省庁との連携推進
開発計画へのジェンダー配慮導入 (INS/93/019)	内務省	UNDP/UNIFEM	1995.6~1997.12	548,800	政府職員に対するジェンダー研修・ワークショップ
ジェンダーと開発研究 (INS/94/W03)		UNDP/UNIFEM	1995.2~1996.5	591,000	WIO/GAD研究に関する大学及び他機関の能力強化
職員へのジェンダー研修パイロット・プロジェクト		UNFPA	1996.6~1997.2	25,850	研修マニュアルの開発による行政官やNGOへのジェンダー研修機能強化
ジェンダー関連ワークショップ		UNESCO	1996.1~3		女性と科学技術に関する国際ワークショップ、女性映画祭の開催
環境協力プロジェクト (472/18270)	RAPEDAL	CIDA	1995~2001	18,023,600	適切な環境政策実施促進のための国家、地域レベルの行政能力強化
女性支援プロジェクト/フェーズII (472/19881)	女性の役割省、BAPPENAS、南スラウェシ女性学センター	CIDA	1994.12~2000.12	12,960,000	ジェンダーに配慮した政策策定、計画、モニタリングに関する関連機関の能力強化
社会ジェンダー統合基金 (472/19881)	政府、NGO等	CIDA	1996.7~2000.7	600,000	女性支援プロジェクトへの資金援助
3女性学センターの能力強化	女性の役割省、人口省	UNFPA	1996~1998	604,000	ジェンダーの平等を達成するための調査、訓練、啓蒙能力強化

4 情報入手可能組織／人材リスト

	名称／氏名（専門）	実績 （プロジェクト内容／ 期間、社会ジェンダー 分析の経緯等）	報告書／著作等	連絡先
政府機関	Ministry for the Role of Women Ms. Evelyn Zakhray (sociology), Head of Planning and Foreign Cooperation		Data of Women's Situation, 1990	Jl. Merdeka Barat 20, Jakarta Tel: 390982 Fax: 390990
	Ministry for the Role of Women Mr. Adji Paramono (gender analysis), Deputy Asst. Minister, Women's Skills Training Division			Jl. Merdeka Barat 15, Jakarta Pusat Tel: 3805543 Fax: 3805562
	Ministry for the Role of Women Ms. Gerarda Sunarsih (Sociology)	1979- Faculty of Social and Political Science, Sebelas Maret University, Surakarta	農村家内工業支援、水 産業世帯の女性に関する 調査	Jl. Merdeka Barat 15, Jakarta Pusat
	Ministry of Cooperatives, Head of Trade and Industry Development, Ms. R.S.Y. Kusumastuti	1991 Agency for Cooperative Research and Development, Coordinator of Research on the Role of Women in Cooperative Development		Jl. Johar Baru II No.5, Jakarta 10560 Tel: 520.4366-4368/520.4371/520.4364
コンサル tant	ABC consultant Ms. Helen Anwar (gender)	1990-92 Social Forestry Project (UNDP)	Women's Situation in Indonesia, 1990	Jl. Jend. Sudirman, Jakarta 11290 Tel: 380098 Fax: 280099
	Manifest Consultant Ms. Adiat Soefiharto (sociology)	1991 Women's Support Project on UPW Institutional Strengthening	OXFAM-Ford Foundation プロジェクト評価	Komp. Department Keuangan Jl. Merapi No.10 Cileduk, Kerang Tengah, Tangerang
	Freelance Consultant Ms. Adriani Sunanpouw Soemantri (WID specialist)	1990-91 Consultant on Gender, Ford Peken 1988-92 Consultant on Gender, OXFAM-Ford Foundation		
	Kalyanaitra Foundation, Women's Communication and Information Centre, Ms. Adriana (gender)	1984-85 Action research on practice traditional medicine among Betawi's women	Family Planning in Indonesia (1990) - Fifth International Women & Health Meeting in Costa Rica, Central America	Jl. Sebrt 10 A, Ps. Minggu, Jakarta 12540
	Project Administrative Support Unit (PASU-CIDA), Ms. Ria Gondowarsito (specialist)	1996-98 CIDA-Social Integration Fund, 1995 Community Self Help Programme for Development in Eastern Indonesia (UNDP)	Indonesian Marriage and the Impact for Women (1988) - ISIS-WICOW and Women's Living Under Muslim Law, France	Jl. Tebet Timur Dalam IIB/8, Jakarta 12820 Tel: 8294675 Hp. 0816-98-7443
	Women in Cooperatives (Canadian Cooperatives Association), Ms. Hanna Tobing (gender)	1991 Community Development/WID Specialist and Training Specialist	The Role of Women in Upland Agriculture : gender issues raised by case studies in Indonesia, Sri Lanka and the Philippines, 1996	Jl. Petogogan U16 A, Jakarta 12140 Tel: 7268564/72668465 Fax: 7268565
	PT. Mitra Lingkungan Dinamika Ms. Avianti Zulaicha (WID specialist)			Jl. Mataram 1/8, Kebayoran Baru, Jakarta 12701 Tel: 712431/718011 Fax: 7250551
研究機関	Indonesian Institute of Sciences, Ms. Achie Sudjati Lubulima (consultancy), Senior Researcher	1992-3 UN Commission on the Status of Women, 1991 Asia Pacific Conference on Women and Environment	Indonesia women in organization / the dynamic of Indonesia women, 1990	LIPI Widya Graha, Bth II, rm. 818, Jl. Jend. Gatot Subroto 10, Jakarta 12790 Tel: 5225711 ext. 339 Fax: 5207226
	Research Centre for Women's Studies, Universitas Brawijaya The Rural Foundation Ms. Hesti Rukmiati Wijaya	1991-95 Coordinator, the Indonesian Association for Women's Concerns	女性政策に関する調査 研究	Jl. Wisma Menanggal II/49, Surabaya 60234 Tel/Fax: 031-832323

	名称/氏名(専門)	実績 (プロジェクト内容/ 期間、社会ジェンダー 分析の経緯等)	報告書/著作等	連絡先
	University of Indonesia, Department of Sociology, Faculty of Social and Political Sciences Ms. Siti Hidayati Amst (sociology)	1992- Chairperson of Women's Studies Group, Faculty of Sociology and Political Science	Working mother and non- working mothers, 1990. Socialization process in the family, 1990. Feminist perspective research / Studies on women in development, 1995. Women participate in paid job ; Do men ready for it ?, 1993	Perumahan PTB-DKI, Block IV/14, Jl. Kelapadua Wetan, Cibubur, Jakarta Timur 13730 Tel/Fax : 8710687
NGO	Pusat Pengembangan Sumberdaya Wanita (PPSW) Ms. Chamsiah Djalal (gender/WID)	1989 Study on Women Work in Informal Sector in Jakarta (PPSW & Canadian Cooperative Association)		Jl. Mocokeno III no.15, Ujan Kayu Selatan, Matraman, Jakarta 13120
	The FORD Foundation and Bina Swadaya Ms. Sih Yuniati (sociology)	1989 Gender Analysis Development (Ministry of Home Affairs and CIDA)		Bina Swadaya, Jl. Gunung Sahari III /7, Jakarta 10610
	The MELATI Foundation (Management Institute for the Advancement of Women), Ms. Titi Sumbung (specialist)	1995- Indonesian NGO Communication Forum for Women, 1991-93 Role of Women in Water Supply and Sanitation Program (UNICEF)		
	Kalyanamitra Foundation Women's Communication and Information Centre Ms. Sita Aripumami (gender/WID)	1991- Member of the Forum for the Defence of Women	Female workers in rural development, 1996 Women's position in Indonesia Social Structure, 1986 Violence against women in Indonesian society, 1989 Gender in Indonesia : women in society, history and media (University of Washington Seattle, USA, 1991) Clean water Supply, a mean to ease the burden of women ; paper presented for Women's Forum Meeting - Peoples Plan for 21st Century in Yokohama, Japan, 1989 Role and status of women in Indonesian Culture, presented at 1991 Culture Congress, Jakarta 1991	
その他	The Convention Watch Working Group Ms. Endah Triwijati, Ms. Isma Martini Keumala, Ms. Nona Iriana, Ms. Nuri Soeseno (researchers)	1994-95 Seminars/Workshops on Women's Health, Violence Against Women, Family Planning, Women's Rights, Labour Issues, etc.		Women's Graduate Program, University of Indonesia, Jl. Salemba Raya No.4, Jakarta 10430 Tel: 3907407/3160785 Fax : 3907407

	名称/氏名(専門)	実績 (プロジェクト内容/ 期間、社会ジェンダー 分析の経験等)	報告書/著作等	連絡先
	LSM-LPSM (Independent researcher specializing in women, social and development issues. Independent consultant for women in development issues) Mrs. Wardah D. Hafidz (women, social and development)	1992-93 Joint program of WALHI, Bina Swadaya and PACT Indonesia		Bukit Pamulang Indah, Blok F4 No.5, Ciputat, Jakarta Selatan 15417 Fax : 7491560

5 関連文献リスト

文献名	著者／発行者	発行年	入手先
概要			
Gender analysis of CARE Indonesia's dryland farming systems project in Sumbawa Islands, Nusa Tenggara Barat.	May Lin Poon-Saldiv, Nikade Astuti, Agung Wibowo	1991	Women's Support Project (WSP 10), S.Wodjojo, 10 th floor JL. Jend Sudirman Kav. 71, Jakarta 12190 tel : 5205856 / 5405857 fax : 5205855
Gender analysis of CARE Indonesia's dryland farming systems project in South East Sulawesi : dryland farming systems project report	George Yap, Yanti Lacsana	1992	"
Report on the consultancy : enhancing the capacity of women studies centers in Indonesia, with regard to gender analysis and their involvement in technical cooperation projects.	Birgit Kerstan	1994	"
Avoiding gender stereotyping in the evaluation of positions / presented at the seminar and workshop on Gender and Development - Bandung, ITB.		1992	"
Gender integration in cooperatives : report of the country survey in Indonesia.	Jutta Beminghausen	1992	"
Indonesia programme briefing strategy regarding social issues and gender sensitivity in programming and proj. implementation.	Christine Pomerleau	1991	"
Managing a women's affairs portfolio : some comments for UPW.	Dorienne Wilson - Smilie	1990	"
Putting women upfront : strategies for organizing women in cooperatives in Asia, final report presented at ASEAN WID Cooperative Forum Seminar.			"
Women and Islam in Indonesia : report to the women and Islam project of the Women in Development Directorate, CIDA.			"
Indonesia country report. Review of Implementation the Nairobi forward looking strategies for the advancement of the women, 1985-1992.	Anonymous.		"
教育			
Assessing organizational effectiveness of non-formal educational programmes for women : a case study of the PKK In South East Sulawesi Indonesia.	Jane Sillifant	1990	"
Gender analysis workshop for the polytechnic education system.	Birgit Kerstan - Bandung : SIAPP	1993	"
Indonesia women's participation in human resource development (HRD) cooperation activities.	Gurimaningsih A. Santoso, Meithy, Bernadette N.S., Jakarta : Univ. Indonesia	1990	"
Integration of women in development : fact sheet for Indonesia.	CIDA		"
Policies affecting female employment in Indonesia.	Mayling Oey - Gardiner		"
Profile of the Indonesian educated women 1980 and 1985 : with special reference to the labor force.	Haning Romdiani, Widayaton - Jakarta, PPT - LIPI	1991	"
Research on socio - cultural constraints affecting Balak women's participation in overseas training : a case study in Medan.	Multamia RMT Lauder, Bayu Setiawan - Jakarta : PPT - LIPI	1991	"
Sectoral policy on education, the young generation, national	Departemen Pendidikan dan Kebudayaan,	1992	"

文献名	著者/発行者	発行年	入手先
Cultural and the pride in the one and only God in enhancing the role of women in development.	Jakarta, Indonesia		"
Socio - cultural constraints of Minangkabau educated women in overseas training participation : a case study in Padang municipality.	Haning Romdianty, Widayatatun	1991	"
Socio - cultural constraints affecting Buginese women's participation in overseas training a case study in Ujung Pandang.	Laila Nagib, Agustina Jakarta : PPT - LIPI	1991	"
Socio - cultural constraints affecting Manado women's participation in overseas training a case study in Ujung Pandang.	Muhadjir, Sari Endahwarni - Jakarta : PPT - LIPI	1991	"
Socio - cultural constraints affecting women's participation in overseas training : a case study in DKI Jakarta.	Felicia, N. Utorodewo Indrawati G., Tiuk Handayani - Jakarta : PPT - LIPI	1991	"
保健・医療			
Patchwork in urban health care : approaches to primary health care in six cities Bogota, Cali, Jakarta, Manila, Mexico, Shanghai	Miles Hardie, Patricia Whittier, David D. Homer	1988	"
Primary health care in Indonesia	Dept. of Health - Indonesia	1990	"
Women - Health and Hygiene ... Bibliography resource on female genital mutilation : bibliography, audiovisuals and organizations / campaign. - Lahore, Pakistan : Women living under Muslim Laws.		1994	Kalyanamitra Foundation, Women's Communication and Information Centre, J.L. Sebret No. 10 A - Pasar Minggu, Jakarta 12540
農林水産業			
Women in forestry : CIDA / Indonesia , Montreal : Agri - consult	Canadian International Development Agency	1986	Women's Support Project (WSP II)
Policy implementation and the participation of women in development decision making : social forestry in Toraja, Indonesia.	Jennifer G. Leith	1988	"
Social forestry at Kiara Payung and the village women.	Carmen E. S., Emmy Dharsono		"
Muara Angke : a study about the condition of wives of fisherman.	Yayasan Srikandi	1985	"
Women in development : Indonesia	John, J. Hourihan - Manila, ADB	1986	"
The enhancement of the role of women in transmigration : settlements and fishing villages.	Departemen Pertanian, Jakarta	1986	"
A role of women in the fisheries industrial system (FIS) : country case study, Indonesia.	United Nations, Indrial Dev't. Organization, ed., T. O. Bromi : studied by Yayasan Srikandi	1987	"
Power, labor, and livelihood : processes of change in rural Java.	Gillian Hart - Berkeley : University of California Press	1986	"
WID Bibliography : searching documents.	Compiler : Jose Levelink - Jakarta : Royal Netherlands Embassy	1989	"
The role of women in upland agriculture in Asia : gender issues raised by case studies in Indonesia, Sri Lanka and the Philippines.	Ria Gondowarsito	1996	CGPRT, Bogor

文献名	著者／発行者	発行年	入手先
The role of women in upland agriculture in South Malang and South Blitar, East Java : report for bilateral project Puslitbangtan with ESCAP - CGPRT Centre.	E. Giinting, Subagio H. Tasira I. K., Prasetyawati N., Ismail C., Krisdiana R., Sutarno, Sumarno	1994	CGPRT, Bogor
A Study of women's issues in agricultural transformation, Final report submitted to the World Bank.	Mayling Oey	1993	Women's Support Project (WSP II)
Gender issues in food policy research : the case of Java.	Ingrid Palmer, Winifred Weekes - Vagliani	1987	"
その他			
Domestic violence (strategy for confronting domestic violence : a resource manual).	Pusat Penelitian Pranata Pembangunan - Universitas Indonesia	1992	Kalyanamitra Foundation
Indonesia migrant labor in Malaysia	Sidney Jones ; trans. by Hemasari, Razif	1996	"
ADB TA 2038 - INO, Institutional Strengthening of the State, Ministry for the Role of Women : workshop summaries - Final Report	DAI & PT Indoconsult (Jakarta)	1995	Women's Support Project (WSP II)
Islam, Women & Development in Indonesia (Preliminary Report)	Susan Mclellan, PhD - Ottawa	1987	"
REPELITA VI - Development Plan (1994/1995 - 1998/1999) : a summary (Box UPW)	Indonesia/ Government of Jakarta		"
Role of Women in Development : Water & Energy Sectors. (Report)	Water & Energy Commission Secretariat - Ministry of Water Resources		"

6 当調査実施に関する情報

◆リサーチ・コンサルタント

Ria Gondowarsito
Jl. Tebet Timur Dalam 11B/8, Jakarta 12820
Tel. 8294675 Hp. 0816-98-7443

◆面談者

記載なし

7 引用文献

厚生省、1996、「開発途上国の母子保健」、厚生省

国際協力事業団、1996、「国別医療協力ファイル：インドネシア」、国際協力事業団

UNDP、1996、「人間開発報告書1996」、UNDP

UNICEF、1996、「世界子供白書1997」、UNICEF

ESCAP、1993、Directory of National Focal Points for the Advancement of Women in Asia and the Pacific, ESCAP.

Gondowarsito, Ria, 1997, Country Profile Studies on Women in Development, JICA, Jakarta.

Indonesia, Republic of, (Office of the State Minister of the Role of Women), 1991, A Brief Situation Analysis of Women, Indonesia, Republic of.

Indonesia, Government of, 1995, Indonesian Country Report: Review of Development Related to the Nairobi Forward-Looking Strategies for the Advancement of Women, Indonesia, Government of.

World Bank, 1996, Indonesia: Country Gender Profile, World Bank.